



TAGHeuer

SWISS AVANT-GARDE SINCE 1860



Globetrotter

Exhibition

**10 のエキシビション、10 の都市、10 のテーマ。
タグ・ホイヤーは先例のないエキシビション、
「世界を旅するホイヤー・ヴィンテージ」で 400 個ものモデルを
披露し、150 年以上に及ぶブランドの歴史を記念します。**

このエキシビションはタグ・ホイヤーと、ホイヤー・コレクターの密接なコラボレーションによって初めて実現可能となったもので、ブランドの遺産であるヘリテージピースを同時に披露するという、タグ・ホイヤー初のアヴァンギャルドな取り組みです。

スイス、ラ・ショー・ド・フォン、2017 年 8 月 31 日 - 本日、タグ・ホイヤーはホイヤー グローブ Trotter エキシビションを誇りを持って発表いたします。9 月 16 日から 2 週間(*)、世界 10 都市のタグ・ホイヤー プティックはラ・ショー・ド・フォンのマニュファクチュール ミュージアムのホイヤーのヴィンテージ モデルと、各地域のコレクターからお借りしたモデルによるテーマ別のコレクション展示を行います。合計 400 個ものモデルが 10 ヶ国で、10 のテーマ別に、同時に展示されます。アヴァンギャルドなブランドだからこそ可能になった、斬新でユニークなコンセプトです。*東京では 2017 年 9 月 16 日から 10 月 9 日まで

イベントは 2015 年にタグ・ホイヤーの CEO、ジャンクロード・ビバーが考案したタグ・ホイヤーの豊かな歴史を強化し、披露するという取り組みの一環として開催されます。その後、ヘリテージ(遺産)はスポーツ、ライフスタイル、アート/音楽にまつわるコミュニケーションの 4 本の柱の 1 つになりました。タグ・ホイヤーのヘリテージは、あらゆるスイスの時計ブランドで最強かつ最重要なもの 1 つです。150 年にわたるラ・ショー・ド・フォンに本拠を構えるタグ・ホイヤーは、アヴァンギャルドな精神を保ちながら、スイス時計製造を今までにない精度と性能のレベルにまで引き上げてきました。またタグ・ホイヤーは、1958 年から 1982 年にかけて社を率いたジャック・ホイヤーを含むホイヤー家ともきわめて密接な関係を保っています。オウタヴィア等、数多くのアイコン的なステータスを勝ち得たモデル、さらに初のスポーツ・スポンサーシップの責任者であった彼は今なお、ブランドの名誉会長です。

懐中時計から、時計ブランドと時計業界に革命を起こした数々の特許を含むオンボード カウンターに至るまで、このエキシビションでは栄光に輝くタグ・ホイヤーの豊かな遺産として展示することになります。

このプロジェクトについて、タグ・ホイヤーの名誉会長、ジャック・ホイヤーは次のように述べています:「私は昔のホイヤーとタグ・ホイヤー ブランドをつなぐ今回のエキシビションに圧倒されました。このブランドの輝かしく、プロフェッショナルで、明るい未来を語る豊かなヘリテージピースを再発見できたことにとっても感謝しています！」

9 月 16 日から 10 月 9 日にかけて、コレクター、ブランドのファン、また時計に関心の高い方々は、ブランドの歴史を物語るユニークなモデルをご覧ください。各都市ではそれぞれのテーマでエキシビションが行われます。パリ - クラシック ホイヤー、ジュネーブ - 重要な発明品、ミュンヘン - ミリタリーウォッチ、ヴェネチア - 自動車と時間計測、ドバイ - セーリングとダイビング、シンガポール - フォーミュラ 1、香港 - 自動車とドライバー、シドニー - マルチスポーツ、東京 - 歴史を重ねたデザイン & モーターレーシング、マイアミ - デザイン。

各プティックのある地域のホイヤー・コレクターの方々から、代表してお一人とタグ・ホイヤーが協力し、その方のコレクション 20 点あまりを同時にプティックに展示します。

このイベントはタグ・ホイヤーがそのコレクターのコミュニティを巻き込んで鼓舞し、顧客との関係を強化しつつ、ブランドの遺産であるヘリテージピースを独自に振り返るという斬新な機会です。



TAGHeuer

SWISS AVANT-GARDE SINCE 1860



Globetrotter

Exhibition

TAG Heuer(タグ・ホイヤー)について

タグ・ホイヤーは 1860 年創業のスイスのアバンギャルドな時計ブランドです。以来、タグ・ホイヤーは、古い慣習を打ち破ってゆく人々にふさわしいウォッチの開発を通じて、限界に挑戦し続けています。その技術的ノウハウは、とりわけ比類ないクロノグラフの製造において、当初からきわめて精度の高い計時性能の実現に役立てられてきました。タグ・ホイヤー CEO 兼 LVMH グループ時計部門社長ジャンクロード・ビバーの率先のもとで、コネクテッドウォッチを含む新しいモデルの数々は、迅速な製品化と一新された環境という新たなダイナミズムを示しています。タグ・ホイヤーは現在、Art(芸術)、Lifestyle(ライフスタイル)、Sport(スポーツ)、そして Heritage(ヘリテージ)という 4 つの世界とコミュニケーションできる世界でも稀少なウォッチブランドのひとつです。スポーツの世界における弊社のパートナーシップには、F1 のレッドブル・レーシング・チーム、F1 モナコグランプリ、FIA フォーミュラ E、インドリアナポリスで行われるインディ 500、さらにパイクスピーク、カレラ・パナメリカーナといった伝説的なレースの数々があります。サッカー界では、マンチェスター・ユナイテッド、英国のプレミアリーグ、ドイツのブンデスリーガ、スペインのラ・リーガ、フランスのプレミアリーグ、米国のメジャーリーグサッカー、中国サッカー・スーパーリーグ、日本プレミアリーグ、アジア・カップ、サッカーオーストラリア男子代表チームがあります。サイクリング界では、プロの BMC レーシングチーム、アブダビ・ツアー、ドバイ・ツアー、オーストラリアのカデル・エヴァンス・グレートオーシャン・ロードレース、ジロ・デ・イタリア、ツアー・オブ・カリフォルニアがあります。また、弊社のアンバサダーを務めるのは、サッカー界の生けるレジェンドであるクリスティアーノ・ロナウド、トレンドセッターの It Girl ベラ・ハディッド、カーラ・デルヴィーニュ、エレクトロミュージックのアイコンとして知られるデヴィッド・ゲッタ、マーティン・ギャリックス、サーフィンの世界チャンピオンのカイ・レニー、米国の花形クォーターバック トム・ブレイディ、オーストラリアの俳優クリス・ヘムズワース、パトリック・デンブシーなどで、タグ・ホイヤーのコアバリューに共感していただいている方ばかりです。こうした価値観こそが、時計産業の伝統の彼方へと進むタグ・ホイヤーの原動力となっているのです。我々のスローガン「DontCrackUnderPressure(プレッシャーに負けるな)」は単なる表明を超えた、ひとつの心のあり方なのです。タグ・ホイヤーは LVMH グループ企業の一員です。詳しくは tagheuer.com をご覧ください。

インスタグラム: [@tagheuer](https://www.instagram.com/tagheuer), Twitter: [@TAGHeuer](https://twitter.com/TAGHeuer), Facebook: <https://www.facebook.com/TAGHeuer>

タグ・ホイヤー メディア担当:

下国亮子: ryoko.shimokuni@tagheuer.com 03-3263-9601

石橋久美子: kumiko.ishibashi@tagheuer.com 03-3263-9607